

経営の視点でロジスティクスを捉え、改革を断行する
CLO(Chief Logistics Officer)を育成



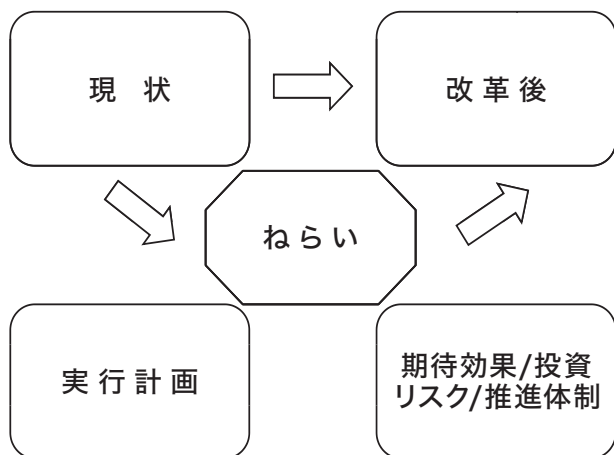
ロジスティクス経営士 資格認定講座

(集合+Zoom)
第23期

後援申請予定：経済産業省・国土交通省

2024年10月3日(木) ————— 2025年3月26日(水)
(カリキュラム14日間+面接試験+資格認定証授与式)

講義、**ケーススタディ**、**グループミーティング**、他を通じ、皆様は自社課題も分析しつつ、経営幹部であるCLOに必要な「戦略的な思考と立案力、財務の分析力他」を身につけます。



エグゼクティブ・サマリー (ES)
論文の一部をなします



主催
公益社団法人
JILS 日本ロジスティクスシステム協会 (JILS)
JAPAN INSTITUTE OF LOGISTICS SYSTEMS
東京都港区海岸1-15-1 スズエベイディウム3階
(本件事務局: clsm@logistics.or.jp)



新型コロナウイルス感染症の出現や、少子高齢化、労働力不足、働き方改革等々でロジスティクスを取り巻く環境は大きく変化しております。また、巣ごもり需要による EC のさらなる拡大、営業自粛要請などによる不透明な需要変動、海外生産拠点の稼働停止や港湾混雑等による輸送遅延などサプライチェーン全体で大きな混乱が起きました。加えて、地政学的リスクにより調達先の変更や輸送手段の見直しを余儀なくされたことで原材料費や物流費の高騰をまねき、一般消費者の社会生活にも大きな影響を与えております。更に、4月26日には、物流関連2法が改正され、物流統括管理者の設置が義務付けられます。このような環境変化に適切に対処し、持続可能な企業活動、特にロジスティクスやサプライチェーンを構築するためには、経営や財務の視点からロジスティクスの各機能を総合的にデザインし、戦略の立案と実践のために必要な能力を身につけることが求められております。

本講座は、持続的な企業価値向上のためにロジスティクスエグゼクティブに求められるあらゆる領域において、経営や財務の視点から課題を抽出のうえ戦略的解決策を立案し、リーダーシップをもってマネジメントできる人材、すなわち「ロジスティクス経営士」の育成を目的とします。

各分野における、最新の理論、技法、専門知識の提供にとどまらず、ロジスティクスに対して高い見識を持つ専門家による講義や事例紹介、自社の問題や課題の発見とその解決策立案の方法を学ぶ「グループミーティング」、企業間コラボレーションの方策を探る「受講者参加型のディスカッション」、また講座で学んだ能力を結集して取り組む「ケーススタディ」等を取り入れることにより、実践的な課題の発見・分析力、戦略立案能力を身につけることが可能なカリキュラム構成です。14日間にわたる講座を通じて、将来の経営を担う他業種・他業界の方々との人的ネットワーク構築は、何ものにも替えがたい財産となることと確信いたしており、本講座を積極的に活用されることを期待しております。

●「ロジスティクス経営士」資格の認定の際には、特に下記の要件が重要となります。

- 1) 経営の視点を常に意識して、考えることができる。
- 2) 財務諸表を分析し、企業の課題を発見することができる。
- 3) 課題を把握し、優先順位をつけることができる。
- 4) 課題解決のための方策を立案することができる。
- 5) 課題解決案を他者に説明し、理解を得ることができる。
- 6) 自社の業界、自分の立場にとらわれず、自由に柔軟な発想ができる。

カリキュラム

講義

- 第1単元** 顧客満足の追及、企業価値の最大化のために、企業は激しい競争を繰り広げている。ロジスティクスが経営に与えるインパクトを、サプライチェーン・マネジメント (SCM) 成功の秘訣、全体最適化の考え方 (TOC=Theory of Constraints: 制約理論)、IT の位置づけに関する理論と先進企業の事例の両面から理解する。
- 第2単元** 経営管理の視点からの財務とロジスティクスの関係、在庫マネジメント、ロジスティクス戦略を立案するうえで不可欠な要素であるロジスティクスコストの捉え方、経営の評価に関連する様々な指標について、講義と事例から学ぶ。
- 第3単元** 真の全体最適を目指すためには、企業内のロジスティクスシステム構築にとどまらず、企業間コラボレーション (協業) が必要不可欠である。製、配、販、それぞれの立場から、真の全体最適実現のために、講師、参加者が一体となり議論するティーチイン方式により、旧来の慣習にとらわれない、コラボレーションのあるべき姿を考える。
- 第4単元** 企業は正しく行動しているか。企業は最も効率的な活動をしているか。ステークホルダーは満足しているか。企業活動の立脚点である、コーポレートガバナンス (企業統治) にかかわる多くの問題が、顕在化している。コーポレートガバナンスの考え方、あるべき姿について、また、企業経営にひそむリスクの分析・評価の仕方等、リスクマネジメントの考え方と進め方について、その理論と実践を学ぶ。
- 第5単元** 企業理念を具現化するのには人であり、その分業と調整のメカニズムたる組織である。企業活動において、最高のパフォーマンスを発揮させるためには、優れた組織を作り、人的マネジメントにより人の能力やモチベーションを向上させる仕組みを作らなければならない。そのために必要な人・組織に関するマネジメントを学ぶ。
- 第6単元** 2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発目標 (SDGs)」は、環境、経済、社会三つの側面のバランスに考慮した取り組みを、我々人類に求めたものである。SDGs を推進するため、なぜ SDGs なのかその理由を考察するとともに、ロジスティクス分野における産業界での取り組みの状況や課題を共有する。
- 第7単元** 経済活動のボーダーレス化、グローバル化に伴い、生産・調達・在庫・販売拠点とロジスティクスネットワークの国際展開は激しい勢いで進展している。この状況下で競争優位を確立するためにはグローバルロジスティクス戦略が必要不可欠であり、その構築方法について、理論と事例から学ぶ。
- 第8単元** この講座の集大成であり、ロジスティクスに関わる理論と事例から学習したエッセンスを自分の能力として定着させ、実践力をつける場である。この講座全体を通じて学んだ知識を総動員し、ケーススタディに取組み、ロジスティクス戦略の改革・立案を行う。グループディスカッション、経験豊富な講師陣からの直接指導を通じて、戦略立案の手法を学ぶ。

ケーススタディ・オリエンテーション、グループ・ミーティングについてはP.3をご参照ください。

「ロジスティクス経営士」資格

- 本講座を受講し修了基準を満たした方には「修了証」を授与いたします。また、本講座を修了し、所定の試験に合格した方には「ロジスティクス経営士」(CLSM = Certified Logistics Senior Master)の資格認定証を授与いたします。

「ロジスティクス経営士」資格認定規程(一部抜粋) ※資格認定規程の詳細については、講座開講時に事務局よりご説明いたします。
「ロジスティクス経営士」資格は、出席日数と論文・面接の試験結果から、資格認定規程に則って、公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 ロジスティクス経営士専門委員会(以下に記載)にて認定いたします。

修了基準 ロジスティクス経営士資格認定講座を受講した者で、以下の基準の全てを満たした場合、本講座の修了者と認定される。

- ①全日程のうち60%以上出席すること。
- ②グループ・ミーティング(その1、その2、その3)、および第8単元「ロジスティクスの戦略立案」のすべてに出席すること。
- ③「ケーススタディ・オリエンテーション その5(エグゼクティブサマリーフォームへの個別指導)」に出席すること。
- ④「論文」を指定された期限までに提出すること。ただし、「論文作成のポイント」に記載された作成要領、提出体裁を満たしていない場合は、受理しないものとする。

合格基準 資格の可否判定はロジスティクス経営士専門委員会が行い、以下の基準を全て満たした場合、合格と判定される。

- ①講座の修了者であること。
- ②論文試験と面接試験を受験し、その合計点(100点満点)が80点以上であること。

*配点内訳: 論文試験 40点/面接試験 60点

「ロジスティクス経営士」評価基準

- ロジスティクス経営士の可否は、以下の基準によって評価を行います。

1. 評価の視点(=提案を受けた社長の立場から)【論文・面接 共通】

1) 経営の視点から

- (1) 財務を踏まえたロジスティクス課題の分析力と解決力の成長度
- (2) ロジスティクス課題を捉える際のスタンス(姿勢)のレベル向上度
- (3) 問題解決のすすめ方の習得と、行動計画の実行可能性の度合

2) 提案の実行にあたって

- (1) 提案の内容を信頼できるか(リスクを考慮しているか、代替案を作成しているか、代替案との比較検証をしているか、等)
- (2) 行動計画を信頼できるか

以上の要件を踏まえて、2. の評価項目を設定し評価する。

2. 評価の項目(論文試験、面接試験=100点満点)

1) 論文試験(40点)

- (1) ケースの分析と課題把握の能力
- (2) 課題解決への視点とアプローチの方法
- (3) 提案内容の論理性
- (4) 論文の完成度(起承転結・表現方法等が論文として適切か)

2) 面接試験(60点)

- (1) 論文提出後のグループ・ディスカッション等を通じて

①論文内容の深化度

- *アウトプット策定過程で、自分が貢献したところはどこか
- *アウトプット策定過程で、特に理解が深化したところはどこか

②ケーススタディの結果に対する理解度

- *ケーススタディから具体的に何を学んだか *自分の論文を修正・改訂するとすればどこか

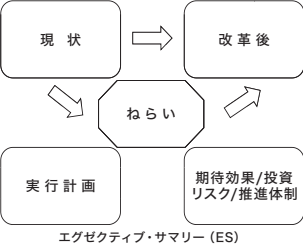


- (2) プレゼンテーション能力

ロジスティクス経営士専門委員会 委員

(2024年7月1日現在)(敬称略)

委員長	尾畑 裕	明治学院大学 経済学部 教授 一橋大学 名誉教授
副委員長	湯浅 和夫	(株)湯浅コンサルティング 代表取締役社長
委員	島崎 市朗	アサヒロジ(株)取締役副社長
委員	山田 登	海外調達支援&物流改革研究所 所長(第7期 ロジスティクス経営士)
委員	池田 洋平	カゴメ(株)SCM本部 物流企画部長(第21期 ロジスティクス経営士)
委員	樋口 恵一	川崎陸送(株) 代表取締役社長
委員	丸山 正晃	元)KPMGコンサルティング(株)
委員	荒木 協和	神戸大学 大学院 国際海事研究センター リサーチフェロー 元)サンスターグループ ロジスティクス研究室 室長
委員	早川 典雄	(株)セイノー情報サービス LLLP事業部 参与(物流技術フェロー)(第4期 ロジスティクス経営士)
委員	向井 亮二	日本パレットレンタル(株)取締役 経営企画部 財務経理部(第19期 ロジスティクス経営士)
委員	飯田 正幸	公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 JILS アドバイザー(第4期 ロジスティクス経営士)
委員	下村由加里	(株)ハンナ 代表取締役社長(第16期 ロジスティクス経営士)
委員	藤田 正美	Fujita office代表 元)キューピー(株)
委員	秋葉 淳一	(株)フレームワークス 会長(第10期 ロジスティクス経営士)
委員	楠堂 昌純	元)三菱食品株式会社(第1期 ロジスティクス経営士)
委員	山口 邦男	Logi-K代表 元)フェデックスジャパン(第3期 ロジスティクス経営士)

ロジスティクス経営士資格認定講座の構成と全体の流れ

開講日	講義	<p>※ ケーススタディ・オリエンテーション</p> <p>仮想企業の改革企画を立案するという実践的なケースを自ら考え抜くことを通じて、実務に即した能力を身につけます。ケーススタディの意義や進め方、解き方等を例題のケースを通じて段階的に学びます。</p> <p>※グループで検討、取りまとめる際にパソコンを使用します。</p>	<p>◆ グループ・ミーティング</p> <p>指導委員によるグループ指導やメンバー間の質疑応答を通じて、自社のロジスティクスに関する業務内容、問題点、原因、課題等を整理し、その解決策について検討します。</p>
2024年	<p>第1単元 ロジスティクスと経営戦略</p>	<p>その1</p> <ul style="list-style-type: none"> ケーススタディの意義や進め方についての説明 例題1の出題 	<p>＜事前課題＞ 自社のロジスティクス課題の取りまとめ</p> <p>その1(グループ指導)</p> <ul style="list-style-type: none"> 自社のロジスティクス課題を整理する。 他社の業務の概要や課題を理解する。
<p>10/3(木) 10/4(金)</p>	<p>第2単元 ロジスティクスと経営管理</p> <p>財務諸表小テスト出題</p>	<p>例題1の検討(個人ワーク) エグゼクティブサマリーの事前提出</p> 	<p>自社のロジスティクス課題の再検討 自社課題の解決策の整理</p>
<p>10/23(水) 10/24(木)</p>	<p>財務諸表小テスト提出</p>	<p>その2(グループ指導)</p> <ul style="list-style-type: none"> 例題1の検討(グループワーク) 例題2の出題 	
<p>11/7(木) 11/8(金)</p>	<p>財務諸表小テスト提出</p> <p>第3単元 ロジスティクスにおける企業間コラボレーション</p> <p>第4単元 企業経営とGRC(ガバナンス・リスク・コンプライアンス)</p> <p>第5単元 組織の設計</p>	<p>例題1に関するレポート課題 例題2の検討(個人ワーク)</p>	<p>課題の事前提出</p>
<p>11/28(木) 11/29(金)</p>		<p>エグゼクティブサマリーの事前提出</p> <p>その3(グループ指導)</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導委員のグループ指導の下で、例題2についての検討(グループワーク) <p>その4</p> <ul style="list-style-type: none"> 試験論文執筆のためのケースブックの出題 	<p>その2(グループ指導)</p> <ul style="list-style-type: none"> 自社のロジスティクス課題を再整理する。 自社課題の解決策を検討する。 <p>自社課題の解決策の再検討</p>
<p>12/11(水) 12/12(木)</p>		<p>論文の作成(個人ワーク)(約36日間)</p> <p>エグゼクティブサマリーの作成 (事前提出)</p>	<p>課題の事前提出</p>
<p>2025年</p> <p>1/9(木) 1/10(金)</p>	<p>第6単元 ロジスティクスとSDGs</p> <p>第7単元 グローバリゼーション</p>	<p>その5(個別指導)</p> <ul style="list-style-type: none"> エグゼクティブサマリー(ケースブックをもとに自身がまとめたロジスティクス改革案の要旨)と、自社課題の解決策に関する個別指導(30分/人) <p>論文の修正(個人ワーク)</p>	<p>その3(グループ指導)</p> <ul style="list-style-type: none"> 自社課題の解決策を検討する。 <p>自社課題の解決策の最終取りまとめ</p>
<p>1/17(金)</p>		<p>論文の提出《1月17日(金) 16:00締切》</p> <p>ケースブックの検討(グループワーク)</p>	<p>自社課題の解決策の提出(最終版)</p>
<p>1/28(火) 1/29(水)</p>	<p>第8単元 ロジスティクスの戦略立案 (グループディスカッション/グループ指導)</p> <ul style="list-style-type: none"> 論文提出後、グループ単位でケースブックについて検討し、発表を行なう。 発表時には各グループ内で役割を設定し、全員が各々の役割から説明・質疑応答を行なう。 	<p>面接試験用まとめシートの作成(事前提出)</p>	
<p>2/14(金)</p>	<p>面接試験 (25分/人 ※2名の委員による面接)</p>		
<p>3/26(水)</p>	<p>資格認定証授与式</p>		

10/3(木) 開講式 オリエンテーション 特別講義 第1単元:ロジスティクスと経営戦略 他 会場 タイム24ビル

8:45- 9:20 (35分)	開講式・講座オリエンテーション	尾畑 裕 明治学院大学 経済学部 教授、一橋大学 名誉教授 ロジスティクス経営士専門委員会 委員長
9:30-11:00 (90分)	特別講義「歴史に学ぶ物流とロジスティクス」 CLOとしての心構えや責任と役割	湯浅 和夫 株式会社湯浅コンサルティング 代表取締役社長 ロジスティクス経営士専門委員会 副委員長
11:45-14:45 (180分)	1-1.ロジスティクスと経営戦略 経営に求められるロジスティクス戦略他	山田 登 海外調達支援&物流改革研究所 所長 ロジスティクス経営士専門委員会 委員 (第7期ロジスティクス経営士)
15:00-15:30 (30分)	❖ ケーススタディ・オリエンテーションその1 ケーススタディの意義と進め方	丸山 正晃 元)KPMGコンサルティング株式会社 ロジスティクス経営士専門委員会 委員
15:45-19:00 (195分)	◆ グループ・ミーティングその1 自社のロジスティクス課題の整理他	ロジスティクス経営士専門委員会 委員
19:00-20:00 (60分)	懇親会	

10/4(金) ケーススタディ・オリエンテーションその1 第1単元:ロジスティクスと経営戦略 会場 JILS会議室

8:00-12:00 (240分)	❖ ケーススタディ・オリエンテーションその1 ケーススタディを通じて習得すべきこと	丸山 正晃 元)KPMGコンサルティング株式会社 ロジスティクス経営士専門委員会 委員
13:00-16:00 (180分)	1-2. SCM概論 構築とオペレーション、成功の鍵「標準化」他	飯田 正幸 公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 JILSアドバイザー ロジスティクス経営士専門委員会 委員 (第4期ロジスティクス経営士)

10/23(水) 第1単元:ロジスティクスと経営戦略 ※ONLINE

10:00-12:00 (120分)	1-3.ロジスティクス戦略に関わるDXの現状 と方向性 IoTの活用によるのロジスティクス他	秋葉 淳一 株式会社フレームワークス 会長 ロジスティクス経営士専門委員会 委員 (第10期ロジスティクス経営士)
13:00-15:00 (120分)	1-4.元CLOによるロジスティクスと経営戦略 サンスター(株)のSCM事例他	荒木 協和 神戸大学 大学院 国際海事研究センター リサーチフェロー 元)サンスターグループ ロジスティクス研究室 室長 ロジスティクス経営士専門委員会 委員
15:10-16:10 (60分)	1-5. 特別講演 人的資本経営について	羽生 雄一郎 りそなアセットマネジメント株式会社 株式運用部 チーフ・ファンド・マネージャー

10/24(木) 第1単元:ロジスティクスと経営戦略 第2単元:ロジスティクスと経営管理 会場 JILS会議室

9:30-11:00 (90分)	1-6. SCMとベンチマーキング 何をベンチマークするのか他	
11:00-16:30 (330分) (含、昼食)	2-1. 財務分析と経営管理指標 財務諸表から分析する経営管理指標の意味他	丸山 正晃 元)KPMGコンサルティング株式会社 ロジスティクス経営士専門委員会 委員
16:30-18:00 (90分)	2-2. ロジスティクスと在庫マネジメント 在庫と経営、在庫低減、成功のポイント他	

11/7(木) 第2單元:ロジスティクスと経営管理

※ONLINE

10:00-12:00 (120分)	2-3. 特別講演 デジタルコネクトによるロジスティクスの俯瞰 ～DX時代のロジスティクス経営への取り組み～	早川 典雄 株式会社セイノー情報サービス LLP事業部 参与(物流技術フェロー) ロジスティクス経営士専門委員会 委員 (第4期ロジスティクス経営士)
13:00-14:50 (110分)	2-4. 企業事例:(株)ハンナ	下村 由加里 株式会社ハンナ 代表取締役 社長 ロジスティクス経営士専門委員会 委員 (第16期ロジスティクス経営士)
15:00-16:20 (80分)	2-5. 企業事例:乾汽船(株)	乾 康之 乾汽船株式会社 代表取締役社長 (第7期ロジスティクス経営士)
16:30-18:00 (90分)	2-6. ロジスティクスと経営の評価 Performance Measureとは他 ※17:50~18:00にてケーススタディ例題1の説明	樋口 恵一 川崎陸送株式会社 代表取締役社長 ロジスティクス経営士専門委員会 委員

11/8(金) ケーススタディ・オリエンテーションその2

会場 **JILS会議室**

10:00-17:00 (420分) (含、昼食)	❖ ケーススタディ・オリエンテーションその2 ケーススタディの解き方:ケーススタディの例題1	樋口 恵一 川崎陸送株式会社 代表取締役社長 ロジスティクス経営士専門委員会 委員
---------------------------------	--	--

11/28(木) 第3單元:ロジスティクスにおける企業間コラボレーション 第4單元:企業経営とGRC 第5單元:組織の設計

会場 **JILS会議室**

9:30-12:30 (180分)	3.ロジスティクスにおける 企業間コラボレーション 発表者による講演 受講者参加によるディスカッション ※2024年問題や物流統括管理者もテーマ	湯浅 和夫 株式会社湯浅コンサルティング 代表取締役社長 ロジスティクス経営士専門委員会 副委員長 森 正子 味の素株式会社 食品事業本部 物流企画部長 前田 賢司 キュービー株式会社 執行役員 ロジスティクス本部 本部長 齋藤 雅之 株式会社カスミ SCM 担当マネジャー
13:30-15:30 (120分)	4.企業経営と GRC (ガバナンス・リスク・コンプライアンス) リスクマネジメント、BCP、コンプライアンス、 コーポレート・ガバナンスと内部統制	田代 邦幸 合同会社Office SRC 代表
15:45-17:45 (120分)	5.組織の設計と基本デザイン 組織デザインの機能 組織改革の概要 知識創造の仕組みと組織デザイン	宮下 篤志 フェリックス・パートナーズ株式会社 代表取締役

11/29(金) ケーススタディ・オリエンテーションその2

会場 **JILS会議室**

10:00-17:00 (420分) (含、昼食)	❖ ケーススタディ・オリエンテーションその2 ケーススタディの解き方:ケーススタディの例題1	樋口 恵一 川崎陸送株式会社 代表取締役社長 ロジスティクス経営士専門委員会 委員
---------------------------------	--	--

12/11(水) グループ・ミーティングその2 ケーススタディ・オリエンテーションその3 会場 JILS会議室

9:30-12:30 (180分)	◆ グループ・ミーティングその2 自社のロジスティクス課題の再検討	ロジスティクス経営士専門委員会 委員
13:30-18:30 (300分)	❖ ケーススタディ・オリエンテーションその3 ケーススタディの解き方:ケーススタディの例題2	

12/12(木) 小テストの解説 ケーススタディ・オリエンテーションその4 論文作成ミーティング 会場 JILS会議室

9:00- 9:45 (45分)	小テストの解説 「財務分析と経営管理指標－補講」	丸山 正晃 元)KPMGコンサルティング株式会社 ロジスティクス経営士専門委員会 委員
10:00-11:45 (105分)	❖ ケーススタディ・オリエンテーションその4 ケースブックの紹介、取り組み方	
13:00-16:00 (180分)	論文作成ミーティング 講座OBOGも協力し、論文作成にあたっての留意点等を解説論理展開、体裁等も指導	飯田 正幸 公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 JILSアドバイザー ロジスティクス経営士専門委員会 委員 (第4期ロジスティクス経営士)

2025年

1/9(木) 第6単元:ロジスティクスとSDGs 第7単元:グローバルゼーション ※ONLINE

10:00-12:00 (120分)	6.ロジスティクスとSDGs 企業のSDGsへの取り組み、Meta Logistics	北條 英 公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 理事 JILS総合研究所 所長
13:00-15:00 (120分)	7-1.ロジスティクスとグローバルゼーション	林 克彦 流通経済大学 流通情報学部 大学院 物流情報学研究科 教授 兼 大学院物流情報学研究科長 国際物流管理士専門委員会 委員長
15:15-16:45 (90分)	7-2.グローバルゼーションの企業事例: FedEx 航空輸送のトレンド他	山口 邦男 Logi-K 代表 ロジスティクス経営士専門委員会 委員 (第3期ロジスティクス経営士)

1/10(金) グループ・ミーティングその3 ケーススタディ・オリエンテーションその5 会場 タイム24ビル

9:30-13:00 (210分)	◆ グループ・ミーティングその3 自社課題の解決策の検討	ロジスティクス経営士専門委員会 委員
14:00-18:00 (240分)	❖ ケーススタディ・オリエンテーションその5 エグゼクティブサマリーフォームへの個人指導・30分/1人	

1/28(火) 第8単元:ロジスティクスの戦略立案 会場 JILS会議室

9:30-18:30 (540分) (含、昼食)	❖ ケーススタディ グループ・ディスカッション	ロジスティクス経営士専門委員会 委員
-----------------------------	-----------------------------------	--------------------

1/29(水) 第8単元:ロジスティクスの戦略立案 会場 JILS会議室

9:30-18:30 (540分) (含、昼食)	❖ ケーススタディ グループ・ディスカッション&グループ発表	ロジスティクス経営士専門委員会 委員
-----------------------------	--	--------------------

2/14(金) 面接試験 会場 AP浜松町

10:00-17:00 (420分)	面接試験 委員2名による面接(25分/1人)	ロジスティクス経営士専門委員会 委員
-----------------------	---------------------------	--------------------

3/26(水) 資格認定証授与式 会場 JILS会議室

16:00-16:45 (45分)	資格認定証授与式	尾畑 裕 明治学院大学 経済学部 教授、一橋大学 名誉教授 ロジスティクス経営士専門委員会 委員長
17:00-19:00 (120分)	懇親会	ロジスティクス経営士専門委員会 委員

○ご不明点他は事務局 (clsm@logistics.or.jp) にお問い合わせください。

受講資格 ロジスティクス関連の実務経験が5年程度ある、部長職クラスまたは部長職候補、ならびに幹部候補の方、あるいは、物流技術管理士または国際物流管理士の資格取得後、実務を3年以上経験した幹部候補の方。

※受講のお申込みをされた方には後日お送りする「受講調査票」・「職務経歴記入表」をご提出いただきます。

【申込書】第23期ロジスティクス経営士資格認定講座		開講期間:2024年10月3日(木)~2025年3月26日(水)	
(フリガナ) () 会社・事業所名	<input type="checkbox"/> 会 員 <input type="checkbox"/> 会 員 外	支払予定日 (開講後の場合はご記入ください) 月 日 支払予定	
(フリガナ) () 派遣責任者	所属・役職名		
勤務先住所 〒 -	T E L : - - F A X : - - e-mail		
(フリガナ) () 受講者	所属・役職名		
勤務先住所 〒 -	T E L : - - F A X : - - e-mail		
有資格: <input type="checkbox"/> 国際物流管理士(期) <input type="checkbox"/> 物流技術管理士(期) <input type="checkbox"/> グリーンロジスティクス管理士(期) <input type="checkbox"/> 物流現場改善士(期)	e-mail		
名 円		BA-2413 受付NO.	

協会への連絡事項

受付日	請求日	請求番号

受講申込規程

申込FAX : (03)3436-3190

●受講料 (1名当たりの金額:消費税込)

- 公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会会員・・・495,000円
- 上記会員外・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・605,000円

●有資格者優待 (1名当たりの金額:消費税込)

- 当協会の認定する下記資格を持つ方は優待料金にてご受講いただけます。
(対象:物流技術管理士、国際物流管理士、グリーンロジスティクス管理士、物流現場改善士)
- 公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会会員・・・440,000円
 - 上記会員外・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・550,000円

●受講料に含まれるもの ①テキスト、資料代 ②審査料

●定員 32名 (定員になり次第、締め切らせていただきます。) (最少催行人数:20名)

●申込方法 (WEB または FAX)

WEB

- 当協会ホームページ (<https://www1.logistics.or.jp>) よりお申し込みください。

[トップ](#) → [資格講座・セミナー](#) → [資格認定講座](#) → [ロジスティクス経営士資格認定講座](#)

FAX

- 本申込用紙に必要事項を明記し、FAXで事務局にお申し込みください。
- 本講座の受け付けは、先着順、定員になり次第、締め切らせていただきます。

●申込締切 2024年9月25日(水)

- 定員に余裕のあるときのみ直前受け付けもおこないます。

●受講料支払い方法: WEB請求書

- 派遣責任者の方の E-mail に送付いたします。それ以外をご希望の方は、協会への連絡事項欄にご指示ください。
- WEB 請求書が届き次第、指定の銀行口座にお振込みください。
開催前日までお願いいたします。(開催後になる場合は、参加申込書の支払い予定日欄に明記してください。)
- 振込手数料はお客様にてご負担願います。

【お願い】

- 開講前に受講予定の方のご都合がつかなくなった場合は、代理の方が受講してください。なお、代理の方も不可能な場合は、下記規定によりキャンセル料を申し受けますので、ご了承ください。

【キャンセル規定】

- 開催7日前~前々日(開催初日を含まず起算).....(消費税を除く)受講料の30%
- 開催前日および当日.....(消費税を除く)受講料の全額

●事前に必ずご確認ください

- 本講座は講義の一部をオンラインで実施いたします。
公益社団法人 日本ロジスティクスシステム協会 (以下「主催者」という) が定める「JILS オンライン研修受講にあたってご了承くださいこと(※)」と、以下の事項の内容をお読みいただき、内容についてご理解、ご承諾のうえお申し込みください。
(※確認先 URL: <https://www1.logistics.or.jp/Portals/0/pdf/onlinekensyu.pdf>)
- 本講座の受講は申込時に登録した受講者に限定し、1人1台のデバイスでご参加いただけます。
 - 主催者に起因する事由や不測の事態により通信が中断した場合は、録画した本講座を期間限定で配信します。
 - 受講者に起因する事由により通信が中断した場合は、主催者は責任を負わないものとします。
 - 本講座の録音、録音、撮影は禁止します。
 - 受講者により運営を妨げるおそれのある行為がある場合、対象者の受講を中止させることがあります。
 - テキストは会場でお渡しいたします。テキストのみの販売はしていません。

【Zoom】

- 本講座は Zoom ミーティングもしくはウェビナーを利用して実施します。事前に受講で利用するデバイス (カメラやマイク機能のあるもの) にミーティング用 Zoom アプリをインストールのうえ、Zoom 接続テスト URL (※) にアクセスし、受講に支障がないことを確認してください (Zoom アプリが利用できない場合は、ご参加いただけません)。
 - 本講座のスムーズな進行のため事前のインストール、接続テスト、諸機能の把握等へのご協力をお願いいたします。(※Zoom 接続テスト URL <https://zoom.us/test>)
- #### 【Microsoft office】
- 講義 Microsoft office の Excel や PowerPoint を使用する場合がありますので利用できるデバイス、環境にてご受講ください。

●主催者/メイン会場

公益社団法人 日本ロジスティクスシステム協会 (JILS会議室)
〒105-0022 東京都港区海岸 1-15-1 スズエベイティアム 3 階

●他会場案内

- AP 浜松町
東京都港区芝公園 2-4-1 芝パークビル B 館地下 1 階
TEL (03)5406-6109
- タイム24ビル
東京都江東区青海 2-4-32
TEL (03)5531-0024 最寄り駅 ゆりかもめ テレコムセンター

個人情報のお取扱について

主催者は、個人情報の保護に努めており、詳細は、当協会のプライバシーポリシー (<https://www1.logistics.or.jp/privacy.html>) をご覧ください。
なお、ご記入いただきましたお客様の個人情報は、本講座に関する確認・連絡・受講者名簿の作成および、主催者の関連催し物のご案内をお送りする際に利用させていただきます。